

渡良瀬遊水地の自然環境

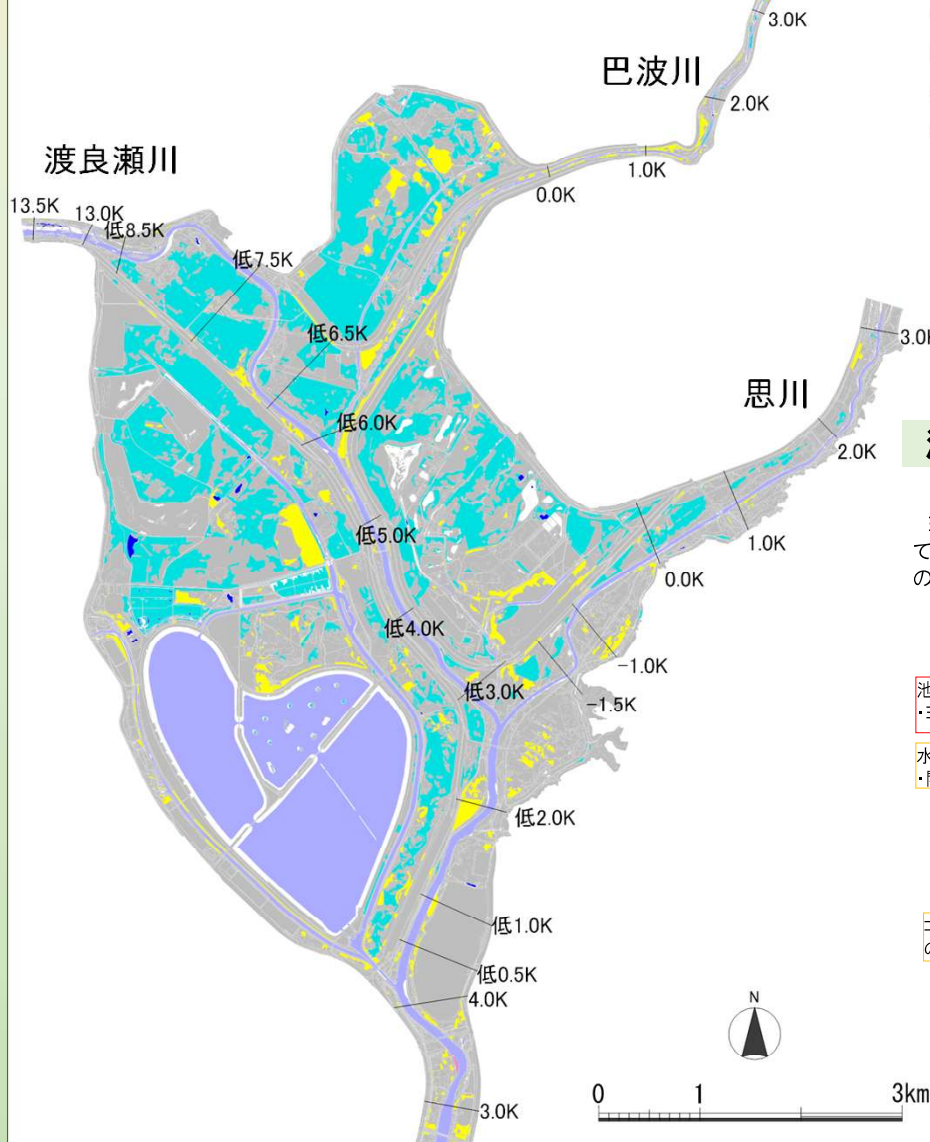
渡良瀬遊水地の自然環境は緑豊かな広大なヨシ原が特徴で、遊水地全体の面積のうち、約2,500haが植生に覆われており、植生の約半分がヨシ原で、栃木県の「すぐれた自然」の一つに数えられています。渡良瀬遊水地には多数の動植物が生息・生育しており、植物 687種、鳥類 129種、陸上昆虫類 1,218種、底生生物 161種、魚類 41種※が確認されています。現在、関東地方でこれほど豊かな生物相を維持している地域はごく限られており、大変貴重な場所となっています。（※平成24年度～令和3年度に実施された調査で確認された種数）

平成18年度から令和3年度の環境維持

渡良瀬遊水地 環境継続マップ

(H18→H23→H28→R3)

渡良瀬遊水地では地域の人々によるヨシ焼きや湿地再生、クリーン作戦等により、多数の生きものが生息・生育する良好な自然環境の維持・保全が図られています。



ヨシ群落(継続)	開放水面(継続)
オギ群落(継続)	開放水面(H28まで継続、R3がワンド・たまり)
自然裸地(継続)	上記以外(R3が開放水面)

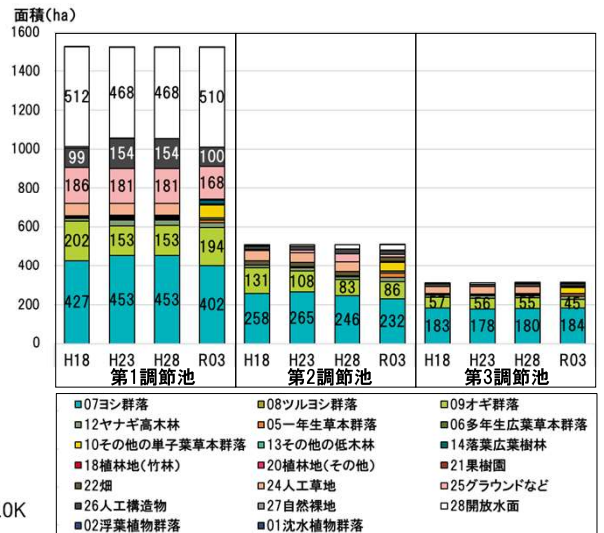


掘削による水面化
・ヨシ、オギ→開放水面



樹木伐採による草地化
アカメヤナギ → クサヨシ等

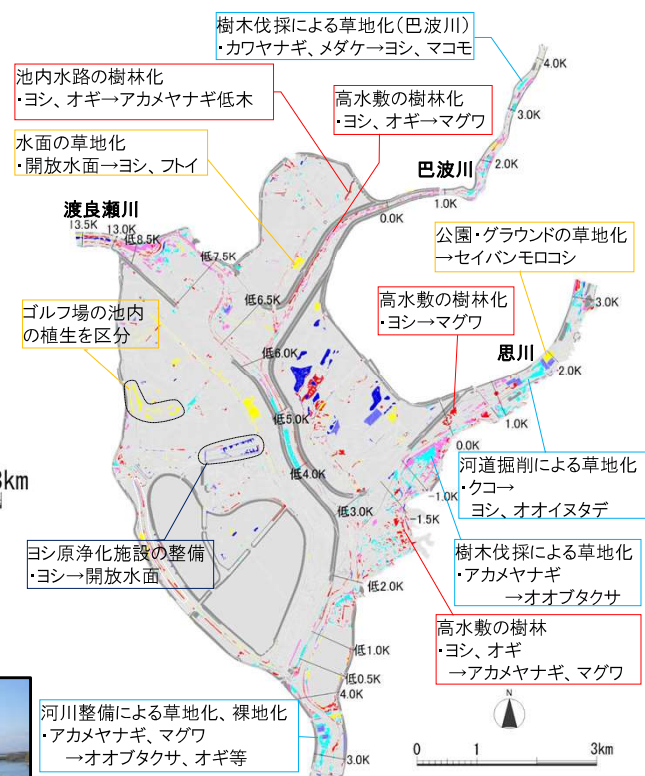
渡良瀬遊水地 植生面積グラフ



渡良瀬遊水地 環境変化マップ

(H23→H28→R3)

ヨシ・オギ等の植生が樹林化している箇所(赤)、水面が草地化している箇所(黄色)も見られています。豊かな自然環境の保全・再生のため、継続的な取り組みを実施します。



戻る方向	A 水面化	E 草地化
	B 裸地化	F 低木化
	C 草地化	G 樹林化
D 変化なし		
H 土地利用に関する変化		